

武蔵野を讃う

土屋忠司

武相の連山紫紅映

富士遥望雲残照

噫武蔵野月雪花

古今の墨客感懐を誌す

【作者】土屋忠司

*武蔵野市の役人、司法保護司、短歌や作詞に長じ校歌・園歌を多作。

東村山音頭(東村山 庭先や多摩湖 ソレヤソレ…)は一九六三年(昭和三十八年)東京都北多摩郡東村山町制定で、

東村山町農 業協同組合が発売したもので、当時、東京都武蔵野市水道部長であった土屋忠司が作詞。

【通釈】武蔵・相模の山々は朝日に映えて美しい。夕べ遙かに富士山を望めば、夕日を受けて雲が輝いている。武蔵野は四季折々雪月

花の風情があつて素晴らしい。そのため多くの文人墨客が感想を書き留めている。